

○不破消防組合消防職員服制及び被服貸与規則

昭和44年3月20日規則第2号

改正

昭和49年4月1日規則第6号

令和5年1月20日規則第1号

(総則)

第1条 この規則は、消防職員(以下「職員」という。)の服制及び被服の貸与に関し、必要な事項を定めるものとする。

(服制)

第2条 職員の服制は、別表第1のとおりとする。

(被服の貸与等)

第3条 管理者は、職員に対し、その事務を処理するために必要な被服を貸与するものとする。

2 貸与する被服の品目、数量、貸与期間及び使用期間は、別表第2のとおりとする。

3 被服は、消防長が管理者から一括受領し、これを職員に貸与するものとする。

(貸与期間の計算)

第4条 被服の貸与期間の計算は、被服を貸与した翌月から起算するものとする。

ただし、既に他の職員が貸与を受けて使用した被服を貸与する場合は、既に他の職員が貸与を受けて使用した期間を除くものとする。

(被服の着用)

第5条 被服の貸与を受けた職員(以下「貸与職員」という。)は、勤務時間中にこれを着用しなければならない。

(被服の保管等)

第6条 貸与職員は、貸与期間中貸与された被服(「貸与被服」という。)を自己の責任において保管し、その保全に留意しなければならない。

(弁償責任等)

第7条 貸与職員は、貸与被服を紛失し、破損した時は、すみやかにその理由を消防長を経由して管理者に届け出なければならない。

2 貸与職員は、貸与被服を紛失し、又は破損したときは、その程度に応じ弁償しなければならない。ただし管理においてやむを得ない理由があると認めたときは、弁償金額を減免することがある。

(被服の管理)

第8条 消防長は、貸与した被服の状況を明確にするため、被服貸与台帳(別記様式1)により、当該状況を整理するものとする。

(被服の返還)

第9条 貸与職員は、貸与期間の満了したときは、又はその期間満了前において職員でなくなったとき(休職の場合を含む。)は、遅滞なく貸与された被服を返還しなければならない。ただし、管理者が認めた場合はこの限りでない。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和49年規則第6号)

この規則は、岐阜県知事の許可のあった日から施行する。

附 則（令和5年規則第1号）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1 (第2条関係)

冬帽	色及び地質		紺色の毛織物とする。
	製式	男性	円形とし、前ひさし及びあごひもは黒色革製とする。あごひもの両端は、帽の両側において金色金属製消防章各1個でとめる。 形状は、図のとおりとする。
		女性	円形つば型とし、帽のまわりに濃紺色またはその類似色のリボンを巻くものとする。
	き章		銀色金属製消防章とする。台地は地質と同様とする。 形状および寸法は、図のとおりとする。
	周章		帽の腰まわりは、黒色のなな子織を巻き、消防司令以上の場合には、じゃ腹組金線及びじゃ腹黒色線を、消防司令補の場合には、じゃ腹組黒色線を巻くものとする。 形状および寸法は、図のとおりとする。
夏帽	色及び地質		紺色の合成繊維の織物とする。
	製式	男性	円形とし、前ひさし及びあごひもは地質と類似色の皮革とする。 あごひもの両端は帽の両側において金色金属製消防章各1個でとめる。 天井の両側に各2個のはと目をつけ、通風口とする腰は、藤づるあみとし、すべり革には、所用の通風口をつける。 天井の内側には、汚損よけをつける。 形状は、冬帽と同様とする。
		女性	冬帽と同様とする。 形状は、冬帽と同様とする。
	き章		冬帽と同様とする。台地は地質と同様とする。
	周章		帽のまわりに、地質と類似色のなな子織を巻き、その他は冬帽と同様とする。
冬アポロキャップ	色及び地質		青色の合成繊維の織物とする。
	製式		形状は図のとおりとする。
夏アポロキャップ	色及び地質		青色の合成繊維の織物とする。
	製式		後ろ4面に同色系メッシュ地を使用する。 形状は、冬アポロキャップと同様とする。
保安帽	色及び地質		白色の強化合成樹脂又は堅ろうな材質とする。

	製式		かぶと型とし、内部に頭部の衝撃を緩和する装置を付ける。 あごひもは、合成繊維の織物とする。 帽の両側面に、「不破消防」と黒色で標示する。	
	き章		帽の前面中央に特殊樹脂製反射式消防章を貼付する。	
	周章		帽のまわりに1条の赤の反射線をつける。	
防火帽	帽	色及び地質	銀色又は金色の強化合成樹脂又は堅ろうな材質とする。	
		製式	かぶと型とし、内部に頭部の衝撃を緩和する装置をつける。 帽の前面には、内蔵式の透明な顔面保護板をつける。 あごひもは、合成繊維の織物とする。 帽の両側面に「不破消防」、背面に「岐阜県」と黒色で標示する。 形状は、図のとおりとする。	
		き章	帽の前面中央に特殊樹脂製反射式消防章を貼付する。	
		周章	帽のまわりに1条の赤の反射線をつける。	
	しころ	色及び地質	紺色の難燃性防水布とする。	
		製式	防火保安帽に取付できるものとし、全面は両眼で視認できる部分を除き閉じることができるものとする。 形状は、図のとおりとする。	
冬服	上衣	色及び地質	冬帽と同様とする。	
		製式	前 面	折りえり 胸部は二重とし、消防章をつけた金色金属製ボタン各3個を2行につける。 前面の左に2個、右に1個ポケットをつけ下部左右のポケットには、ふたをつける。 形状は、図のとおりとする。
			女 性	打合わせを、右上前とするほかは、男性と同様とする。
階級章	樹脂製又は布製とし、裏面は、マジックテープ式とする。右胸部のポケット上部につける。			

		消防長章	銀色の台地とし、金色線3条及び黒色線2条を配し、中央にいぶし銀色の桜葉で囲んだはめ込みの金色消防章を配する。 消防長章は、階級章の上部につける。	
		そで章	黒色しま織1条に消防司令補以上は、じゃ腹組金線1条を消防士長は、じゃ腹組銀1条を表半分にまとい、その下部に消防司令以上の場合には、金色金属製消防章をつける。	
		えり章	左えりに、不破消防組合を表徴するバッチ1個をつける。	
	下衣	色及び地質		上衣と同様とする。
		製式	男性	長ズボンとする。 形状は、図のとおりとする。
			女性	長ズボン又はスカートとする。
夏服	上衣	色及び地質		淡青色の合成繊維の織物とする。
		製式	前面	カッターえりの半そでとする。 淡青色又はその類似色のボタン5個を1行につける。 形状は、図のとおりとする。
			肩章	外側の端を肩の縫い目に縫い込み、えり側を淡青色又はその類似色のボタン1個で、とめる。
	下衣	色及び地質		夏帽と同様とする。
		製式		長ズボンとする。 形状は、図のとおりとする。
活動服	上衣	色及び地質		青色の合成繊維の織物とし、えり、肩及び背面上部にオレンジ色を配する。
		製式	前面	用途に適応した、通気性、難燃性、強度、帯電、静電防止等の機能を有した、カッターえり式の長そでとする。 青色のファスナーとその類似色のマジックテープを1行につける。 形状は、図のとおりとする。
			背面	背面上部に、紺色で「上段：GIFU PREF. 下段：FUWA F.D.」と刺しゅうする。
			肩章	外側の端を肩の縫い目に縫い込み、えり側を青色のボタン1個でとめる。
	下衣	色及び地質 製式		青色の合成繊維の織物とする。 長ズボンとする。 形状は、図のとおりとする。
救助服	上	色及び地質		オレンジ色の合成繊維の織物とする。

	衣	製式	前面	開き立えりの長そでとする。 ファスナーを1行に付ける。 肩部、胸部、腹部、及び肘部を補強布で刺縫いする。 形状は、図のとおりとする。
			背面	背面上部に紺色で「上段：GIFU 中段：不破消防 下段：RESCUE」と刺しゅうする。
			肩章	活動服と同様とする。
	下衣	色及び地質	上衣と同様とする。	
		製式	長ズボンとする。 ひざ部及び臀部は補強布で刺縫いする。 形状は、図のとおりとする。	
	冬救急服	上衣	製式	色及び地質
前面				台えり付きシャツカラーの長そでとする。 えりに白色のブロードの替えりをつける。 ファスナーを1行に付ける。
背面				背面上部に紺色で「上段：FUWA F.D. 下段：GIFU PREF.」と刺しゅうする。
下衣		製式	肩章	外側の端を肩の縫目に縫い込み、白の反射テープの肩章カバーを差し込み、えり側を地質と類似色のボタン1個でとめる。
			色及び地質	灰色の合成繊維の織物とする。
			製式	長ズボンとする。
夏救急服	上衣	製式	色及び地質	冬救急服上衣と同様とする。
			前面	半そでとするほかは、冬救急服上衣と同様とする。
			背面	冬救急服上衣と同様とする。
	下衣	製式	肩章	冬救急服上衣と同様とする。
			色及び地質	冬救急服下衣と同様とする。
			製式	冬救急服下衣と同様とする。
防火服	上衣	製式	前面	立えりハーフコート型とする。 肩部及び肘部に耐衝撃緩衝材を縫付ける。 前身頃裾、ポケット下部、胸部、袖口にオレンジ色の反射布を縫い付ける。 黒色のファスナーとその類似色のマジックテープを1行につける。 形状は図のとおりとする。
			背面	背面上部にオレンジ色で「上段：不破消防 下段：FUWA FIRE DEPT.」と標示する。 背面及び後身頃裾にオレンジ色の反射布を

			縫い付ける。 形状は、図のとおりとする。
	下 衣	色及び地質	上衣と同様とする。
		製式	サスペンダー付き立体構造式長ズボンとする。 膝部は、耐衝撃緩衝材を縫い付ける。 形状は、図のとおりとする。
ポロシャツ	色及び地質		濃紺色の合成繊維の織物とする。
	製式		半そでとする。 左胸に不破消防組合マークをつける。 左袖に当本部が指定するマークをつける。 右袖に個人の氏名をオレンジ色でつける。 マークは、図のとおりとする。
防寒服	色及び地質		濃紺色の合成繊維の織物とする。
	製式		立えり型、雨除け付き面ファスナー4点止め前立て、前後ヨークからそでにかけてと背中中央部に反射パイピング入り切り替えとする。 背面上部に反射銀色で「上段：GIFU PRE F. 下段：FUWA F.D.」と標示する。 手口は、面ファスナーで調整できる仕様とする。 形状は図のとおりとする。
雨衣	上 衣	色及び地質	ナイロン製とする。
		製式	フード付き立えり長そでとする。ファスナー及びボタン7個を1行につける。 背面上部に反射銀色で「不破消防」と標示する。 左胸に不破消防組合マークをつける。 反射プリントを上腕部及び背部につける。
	下 衣	色及び地質	上衣と同様とする。
		製式	長ズボンとする。
ネクタイ	色及び地質		紺色の合成繊維の織物とする。
消防活動 用手袋	色及び地質		黒色で表面は、ケブラー繊維製ニット生地裏面はノーメックスの交編ニットとする。本体内装生地の中層は透湿防水フィルム製グローブ、内層は綿ニット生地とする。
作業用手 袋	色及び地質		黒色の人工皮革とする。
墜落制止用 器具	製式		厚生労働省平成31年告示第11号「墜落制止用器具の規格」に適合したものとする。

バンド	冬服用	色及び地質	黒色革製とする。
		製式	前金具中央に、消防章をつける。
	夏服用	色及び地質	紺色の合成繊維とする。
		製式	金属製のバックルとし、中央に消防章をつける。
	活動服用	色及び地質	青色の合成繊維とする。
		製式	前金具は、2穴式とする。
	救助服用	色及び地質	オレンジ色の合成繊維とする。
		製式	活動服用バンドと同様とする。
	救急服用	色及び地質	白色の合成繊維とする。
		製式	活動服用バンドと同様とする。
長靴	色及び地質	黒色のゴム製とする。	
	製式	上部中央に消防章をつける。 靴底に、踏み抜き防止板を挿入する。	
防火靴	色及び地質	黒色のゴム製とする。	
	製式	編上靴型とし、外側横に切込みを入れ、ファスナーを斜めにつける。 背部に爪先ゴム部分と同系色（黄色）の反射テープをつける。 靴底に、踏み抜き防止板を挿入する。	
救助用編上靴	色及び地質	黒色の皮革又は合成繊維とする。	
	製式	編上靴型とし、外側横にファスナーをつける。靴底はゴム製とする。 靴底に、踏み抜き防止板を挿入する。	
消防手帳		表紙は、黒色の革製又はこれに類似するものとする。 中央上部に消防章を、その下に消防本部名を、それぞれ金色で表示し、背部に鉛筆差しを設け、その下端に長さ45センチメートルのひもをつけ、表紙内側には、名刺入れをつける。用紙は恒久用紙と記載用紙とに分け、いずれも差し換え式とし、その枚数は、恒久用紙10枚、記載用紙80枚とする。	

別表2 (第3条関係)

品名		数量	貸期	使用期間	備考	
帽子	制帽	冬帽	1個	使用できる範囲	10月1日から翌年5月31日まで	紺色
		夏帽	1個	使用できる範囲	6月1日から9月30日まで	紺色
	アポロキャップ	冬	1個	2年	冬帽に準ずる。	青色
		夏	1個	2年	夏帽に準ずる。	青色
保安帽		1個	使用できる範囲	年間	白色	
防火衣一式		1個	10年	年間	濃紺色	
冬服		1着	5年	冬帽に準ずる。	濃紺	
夏服		1着	3年	夏帽に準ずる。	淡青色	
活動服		1着	2年	常時必要なとき。	青色	
救助服		1着	使用できる範囲	常時必要なとき。	オレンジ色	
冬救急服		1着	2年	常時必要なとき。	灰色	
夏救急服		1着	2年	常時必要なとき。	灰色	
ポロシャツ		1着	使用できる範囲	年間	濃紺色	
防寒服		1着	使用できる範囲	常時必要なとき。	濃紺色	
雨衣		1着	使用できる範囲	常時必要なとき。		
ネクタイ		1本	使用できる範囲	冬帽に準ずる。	濃紺色	
消防活動用手袋		1双	使用できる範囲	常時必要なとき。	黒色	
作業用手袋		1双	使用できる範囲	常時必要なとき。	黒色	
墜落制止用器具		1本	使用できる範囲	常時必要なとき。		

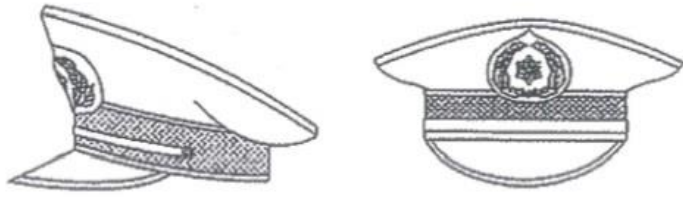
階級章	1 個	使用できる 範囲	年間	
バンド	1 本	使用できる 範囲	年間	
長靴	1 足	使用できる 範囲	年間	黒色
救助用編上靴	1 足	使用できる 範囲	年間	黒色
消防手帳	1 個	在職中	年間	

別記様式 1

被服貸与台帳	年 度		貸与年限	
品 名			数 量	
階 級	氏 名	貸与年月日	返還年月日	備考
適 用				

図

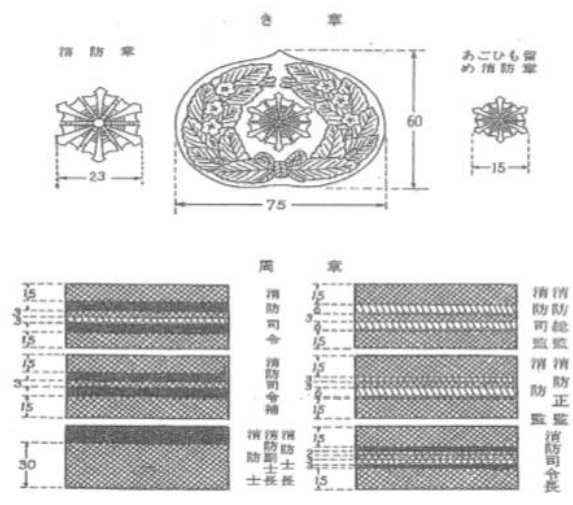
制帽



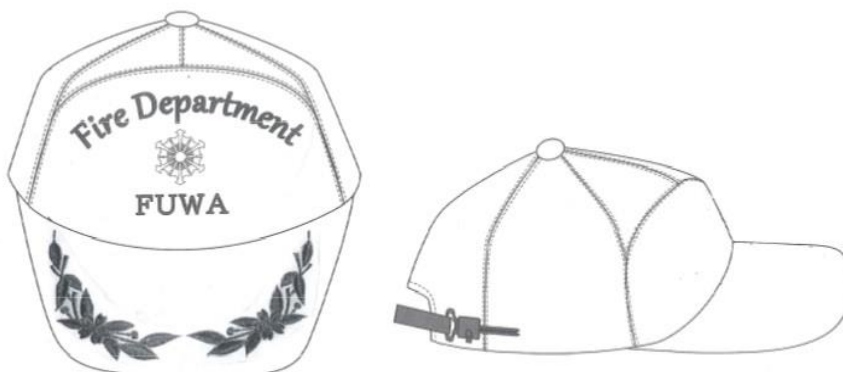
制帽（女性用）



き章・周章



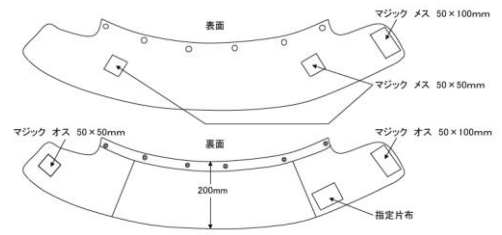
アポロキャップ



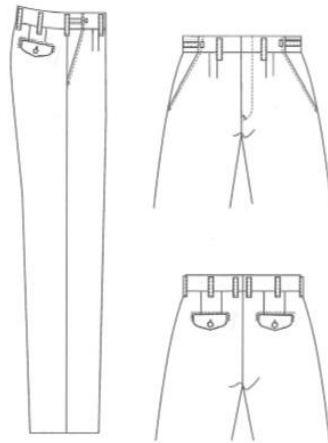
防火帽



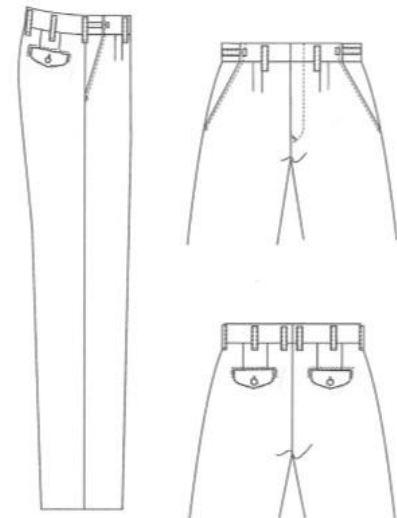
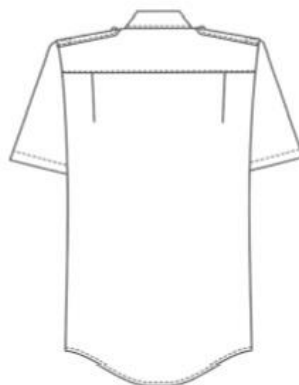
HST-002用三つ巻しころ 仕様図



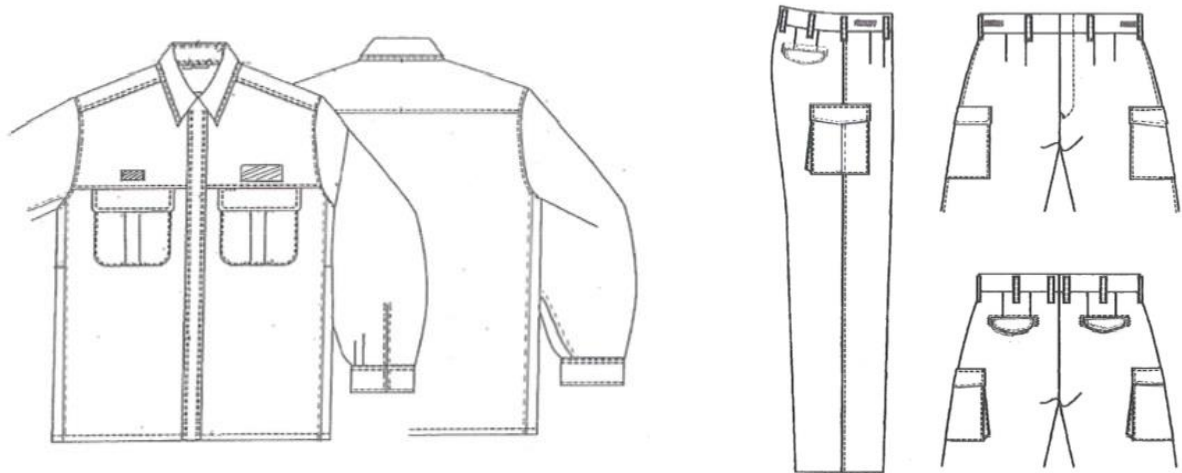
冬服



夏服



活動服



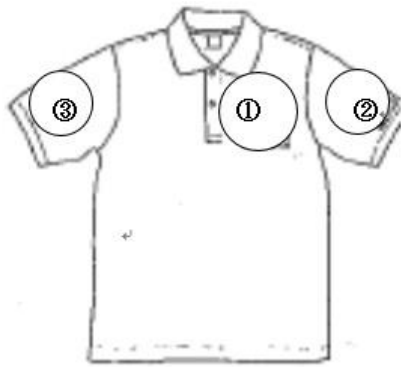
救助服



防火衣



ポロシャツ



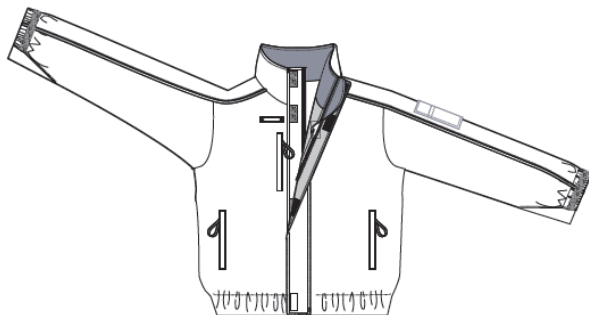
①左胸マーク

②左肩マーク

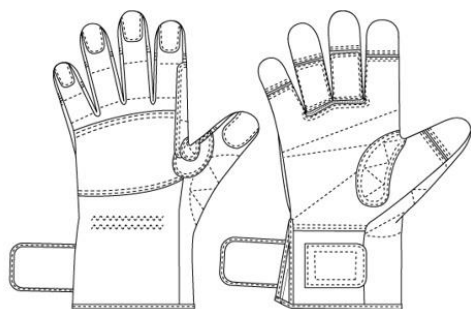
③個人ネーム



防寒服



消防活動用手袋



防火靴

